

学年	高校2年	教科	数学科	科目	数学B	単位数	3
教科書名		改訂版 数学B (数研出版)		副教材名		サクシート数学II+B (数研出版)	
コース・クラス		特進理系					

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を育てる。多くの応用問題を通じて、論理的な思考と問題解決技能を修得することを目標とする。

II. 授業のねらい

- 1章 平面上のベクトル … 平面上のベクトルについて、基本的な概念やベクトルの演算を理解させる。また、平面図形の性質の考察にベクトルを活用させる。
- 2章 空間のベクトル … 座標空間について理解するとともに、空間ベクトルについて理解させ、空間図形の考察にそれらを活用できるようにする。
- 3章 数列 … 簡単な数列とその和及び、漸化式と数学的帰納法について理解させる。また、それらを用いて事象を数学的に考察させる。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に、授業を展開する。また、応用力を身につけるため、原則すべての問題を扱う。必要に応じて、大学入試問題等も扱う。
2. 单元ごとに小テスト実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を中心に、幅広く出題する。また、模擬試験レベルの問題も出題する。

- | | | |
|-----|------|-----------------------|
| 1学期 | 中間試験 | : 平面上のベクトル |
| 1学期 | 期末試験 | : 平面上のベクトル |
| 2学期 | 中間試験 | : 空間のベクトル |
| 2学期 | 期末試験 | : 数列 |
| 3学期 | 学年末 | : 平面上のベクトル・空間のベクトル・数列 |

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1章 平面上のベクトル 1節 平面上のベクトルと その演算	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味と基本的な用語を理解する。 ベクトルの演算方法を理解する。 ベクトルの成分表示が理解でき、成分の計算ができる。 ベクトルの内積の図形的な意味を理解する。 内積を成分で計算できる。 位置ベクトルを理解し、図形の問題に利用することができる。 直線の方程式と直線のベクトル方程式を関連づけて理解する。
	5			
	6	2節 ベクトルと平面図形		
	7			
二学期	9	2章 空間のベクトル	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線・平面の位置関係が理解できる。 空間の座標を定め、空間の点を座標を用いて表すことができる。 空間のベクトルと平面のベクトルは同じ性質が成り立つことが理解でき、ベクトルを用いて空間の様々な問題が解ける。 数列の意味と基本的な用語が理解できる。 等差数列の和や一般項が求められる。 等比数列の和や一般項が求められる。 和の記号Σを扱える。 階差数列から一般項が求められる。
	10			
	11			
	12			
三学期	1	3章 数列 1節 数列とその和	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 群数列の第 n 群の総和が求められる。 漸化式が扱える。 数学的帰納法を理解して、等式や不等式の証明ができる。 数学 B 全範囲の問題演習。
	2			
	3	数学 B 総復習		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもある。

※ 教材として、入試問題を扱う。